

2017年
2月中国四国農政局
香川県拠点

News Letter

香川の「BONSAI」を世界へ

香川県は日本一の松盆栽の産地です。高松市西部の鬼無町・国分寺町には、黒松や錦松、五葉松などを育てる多くの盆栽園があります。

その歴史は古く、約200年前の江戸時代から始まったといわれています。温暖で雨が少なく、年間を通じて気温差が少ない立地条件に加え、果樹などの苗木生産で培った剪定や接木技術により盆栽の生産は発展してきました。

平成27年の県内の盆栽の栽培面積は約12ha、出荷量は58,000鉢。特に、松盆栽は国内シェアの約8割を占めています。また、樹形の美しさに加え水はけの良い砂土壌で育てられた松は、根腐れしにくく傷まないとして定評があります。盆栽は、県内の盆栽センター等で展示・販売されるほか、インターネット等で全



輸出用の高松盆栽

国の愛好家へ直接販売されています。

また、海外での盆栽人気も高まっており、「BONSAI」として多くの愛好家から注目されています。平成23年のアジア太平洋盆栽水石（すいせき）大会や平成26年の高松盆栽大会には、世界各国から大勢の盆栽ファンが集まり、高松盆栽の知名度も世界に広がり、現在は台湾やアメリカ、EUなどへ輸出されています。

香川県盆栽生産振興協議会の尾路悟会長は、「今後は、関係機関と連携して盆栽の魅力を全国や海外に向けて広く情報発信することが重要。海外の見本市や商談会へ出



丹精込めて育てられる盆栽

展するなど、一層の輸出拡大を図りたい。」と話されています。

盆栽は、お祝いなどの贈答品や記念品としても喜ばれ、ドイツなどでは若い女性が父親にプレゼントすることもあるそうです。皆さんもお気に入りの一鉢を探してみたいですか。



高松盆栽のロゴマーク



国分寺町の高台には、盆栽の里に幸福が訪れることを祈念して、樹木の神様と草花の神様を祀った日本でもただ一つの盆栽神社があります。

「おむすびの日」感謝デー ～「おいでまい」×炊き込みごはん～

1月17日、丸亀市の「讃さん広場」においてJ A香川県主催の「おむすびの日」のイベントが開催されました。香川県拠点では、「おむすびの日」の由来や「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」が実施した記念アンケート結果のパネル展示を行い、食べることの大切さやお米の重要性をアピールしました。

会場では、香川県産「おいでまい」と「コシヒカリ」の炊き込みおむすびの食



パネル展示

べ比べ（限定150食）が行われ、参加者は、おむすびをおいしそうにほおぼっていました。

同時に行ったアンケートでは、炊き込みごはんに合う品種として、「おいでまい」が「コシヒカリ」を上回りました。また、「好きな炊き込みごはんの具材は？」では、キノコ類、油あげ、鶏肉、ごぼう、にんじんが上位を占めました。



試食会の様子

～日本の農業、もっと強く。～ 農業競争力強化プログラム

昨年11月29日、政府の農林水産業・地域の活力創造本部において、農業競争力強化プログラムが決定され、農林水産業・地域の活力創造プランの中に位置づけられました。

農業競争力強化プログラムは、農業者の所得向上を図るため、農業者が自由に経営展開できる環境を整備するとともに、農業者の努力では解決できない構造的な問題を解決しようとするものです。

このプログラムの具体的な内容を知っていただけるよう、項目毎の説明の動画を作成し、農林水産省ホームページ（MAFFチャンネル（YouTube））へ掲載しましたので、是非ご覧ください。



農業競争力強化プログラム説明動画はこちら

http://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo_kyousou_ryoku/index.html#a

香川県拠点メールマガジン「香川ぴっぴ通信」のご案内

香川県拠点では、県内の生産者、消費者及び関係団体等の皆様を対象としたメールマガジン「香川ぴっぴ通信」を発行しています。国の施策や農林水産業に関する話題など、スピーディにピピッとお届けします。

※ 毎月2回（原則1日、16日）配信

※ メールマガジンはどなたでも無料でご覧いただけます。

配信を希望される方は、香川県拠点ホームページから登録をお願いします。

「中国四国農政局香川」で検索

編集：中国四国農政局 香川県拠点

〒760-0018 高松市天神前 3-5

TEL (087)831-8151(内線221) FAX(087)833-7291 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中（登録はこちらから）<http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>